

こどもたちの「よさ」をつなぐ・・・



立春が過ぎ、そして先日は雨水と、季節は冬から春へと進み始めています。校舎の周りをよく観察すると、枯れ草の中から「オオイヌノフグリ」の紫色のつぼみが顔をのぞかせていたり、「ネコヤナギ」の茶色い芽が空に向かって背伸びをしたりしています。

そして、学校も一年のまとめの時期に入ります。次につながる大切な時期です。今年一年間の子どもたちの「よさ」を次のステージにつなげる準備を進めていきたいと思えます。



5年生が中心となって「豆まき」が行われました。季節の行事を体験する中で、「もうすぐ6年生」への思いも芽生えたようです。



今年一年間の活動を振り返り、自分たちが「感じたこと」「考えたこと」を新聞作りをとおして表現しました。思いは次の学年へ引き継ぎます。



生徒会役員選挙が行われ、次年度に向けた新しい生徒会の役員が誕生しました。4月からは3学年が揃います。

来週から、卒業式にむけた練習が始まります。今年は、はじめての体育館での卒業式になります。子どもたちの「よさ」を生かし、次の学年につながる卒業式にしたいと考えています。

平成31年2月



～児童生徒一人ひとりの夢の実現をめざして～

福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子